

4. 減速機

4-1 ギヤードモータ据付時の注意

ギヤードモータの取り扱いについては、それぞれの取扱説明書に詳しく述べておりますので、ご使用にあたっては必ずご精読ください。ここではギヤードモータの取り扱いに関する一般的なことがらについて記述いたします。

- (1) ギヤードモータ据付の基礎は、振動や調整不良を生じないように、十分強固にして取付面が水平になるように据え付けてください。
- (2) 鋼板製の台床などに取付ける場合には、十分な剛性(振動加速度4.9m/s²以下)をもった台床とし、台床の厚さは、締付ボルトの直径よりも厚くしてください。
- (3) ギヤードモータ取付の際には、脚に片締めなどの無理が絶対にかかるないように注意し、固定してください。
- (4) ギヤードモータのセンタハイドの公差は0~0.5mmで製作していますので、正確な調整を要する場合には、シムによって行ってください。
- (5) ギヤードモータの据え付け角度

①グリース潤滑専用機種(GM-J2, S, D, SSY, SHYシリーズ)

グリース潤滑専用機種はグリースもれ防止構造に万全を期しておりますので、取付角度に制限はなく、あらゆる方向に取付自在です。

②オイル潤滑専用機種(GM-D, LJ, DY)

オイル潤滑専用機種の横形の取付は水平取付を標準としておりますが、若干の傾きは可能です。

各ギヤサイズにおける許容傾斜角を表16, 17に示します。(この場合、油面計を中心に考え、油面計が役割を果たす最大許容傾斜角です。)傾斜角がこれ以上になる場合は歯車、軸受の潤滑に支障をきたしたり、またオイル漏れの原因ともなります。

③インバータ駆動シリーズ(GM-DZ, オイル潤滑防爆を含むインバータ駆動シリーズ)

機種の一部は取付方向に制限があります。詳細は、各特殊仕様品の機種構成表の注意欄をご確認ください。

表16 オイル専用機種許容傾斜角度 (GM-D, LJシリーズ)

シリーズ	ギヤ サイズ	取付角度(°)			
		A°	B°	C°	D°
GM-D	M,MM	14	17	17	17
	N,MN	13	17	16	16
	DK	14	17	16	16
	DL	13	17	17	17
	TM	4	7	5	5
	TN	4	7	7	7
	TP	5	6	7	7
GM-LJ	K	14	17	16	16
	L	13	17	17	17
	M,TM	4	7	5	5
	N,TN	4	7	7	7
	P,TP	5	6	7	7

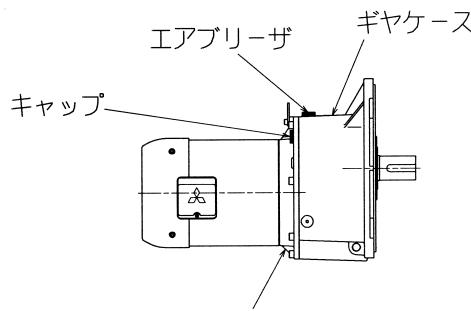
(注) 1.ブレーキ内蔵形(30~37kW)の場合は、必ず水平に取付けてください。傾斜取付にしますと、ブレーキの動作不良となりますので、ご注意ください。

表17 オイル専用機種許容傾斜角度(GM-DYシリーズ)

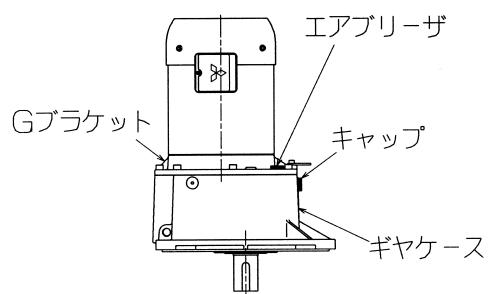
シリーズ	ギヤ サイズ	出力・減速比	取付角度(°)			
			A°	B°	C°	D°
GM-DY	34C	3.7kW 1/15~1/20	5	5	5	5
	44C	3.7kW 1/25~1/60 5.5kW 1/15~1/40 7.5kW 1/15~1/20	5	5	5	5
	54C	3.7kW 1/80,1/100 5.5kW 1/50~1/80 7.5kW 1/25~1/60 11kW 1/15~1/40	3	3	3	3

(6) GM-Dシリーズフランジ取付について

GM-Dシリーズオイル潤滑専用機種のフランジ取付は、給油栓とエアブリーザを入れ替えることで、立形(軸下のみ)、横形の取付けのどちらでもご使用できます(GM-LJシリーズは不可)。給油栓は空気孔がなく、Oリングを装着しているキャップ、エアブリーザは空気孔があり、Oリングを装着していないキャップです。



フランジ取付の場合



立取付の場合

注) GM-D 3.7kW 1/120, 5.5kW 1/60~1/120, 7.5kW 1/45~1/90はフランジ形と共に別形名となります。

●GM-DYシリーズ据付方向

標準は水平据付ですが、ご用命により、下記の様な据付方向でも製作可能です。
なお、モータ部分が下側およびフランジ面が上側及び下側となる据付方向はご使用できません。

